

令和4年度
第2回苫小牧市空家等対策委員会（資料）

令和5年3月23日

苫小牧市
市民生活部市民生活課

このページは個人情報保護のため、一部修正しています。

目次

(1) 令和4年度空家等対策の進捗状況について

- ① 空家等解体補助金 ----- 1
- ② 空き家セミナー ----- 4
- ③ 空き家相談会 ----- 5

(2) 令和4年度空家等実態調査について

- ① 実施状況 ----- 6
- ② 所有者等アンケート ----- 8

(3) 特定空家等の取組状況について

(4) 今後のスケジュールについて ----- 11

(1) 令和4年度空家等対策の進捗状況について

このページは個人情報保護のため、一部修正しています。

① 空家等解体補助金

ア 申請期間

令和4年6月9日（木）から6月24日（金）まで

イ 補助件数

6件

ウ 応募件数

12件（うち、市外在住の申請者 2件）

エ 補助実績

300万円

No.	空き家の所在地	不良度ランク	審査結果	補助額	状況
1	〇〇町	D	優先決定	50万円	完了
2	〇〇町	C		50万円	完了
3	〇〇町	C		50万円	完了
4	〇〇町	C		50万円	完了
5	〇〇町	C		50万円	完了
6	〇〇町	C		50万円	完了

オ 解体の結果

No. 1 ○○町 (Dランク)

解体前



解体後



解体費用 221万円

No. 2 ○○町 (Cランク)

解体前



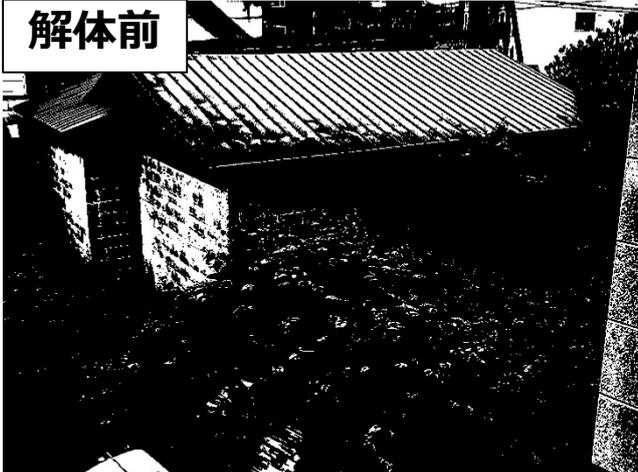
解体後



解体費用 220万円

No. 3 ○○町 (Cランク)

解体前



解体後



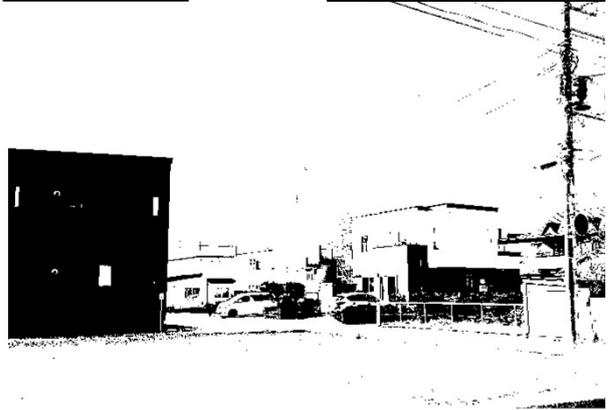
解体費用 139万円

このページは個人情報保護のため、一部修正しています。

No. 4 ○○町 (Cランク)



解体後



No. 5 ○○町 (Cランク)



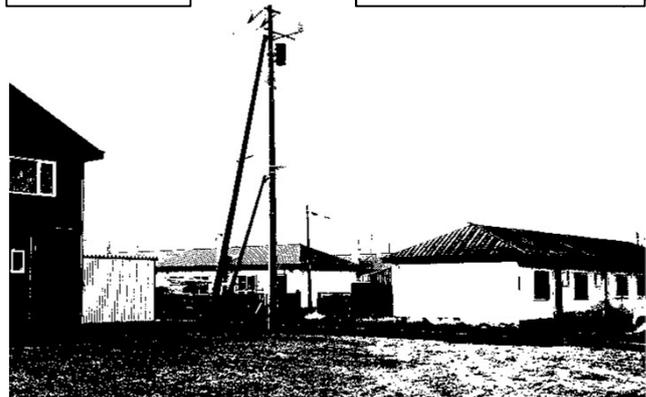
解体後



No. 6 ○○町 (Cランク)



解体後



② 空き家セミナー

ア 開催日時
令和4年11月20日（日）13時30分開始 15時00分終了

イ 会場
苫小牧市民活動センター4階 講習室A

ウ テーマ
「空き家売却の基礎知識」

エ 講師
札幌総合法律事務所 弁護士 野谷 聡子 氏

オ 参加者数
11名



カ 参加者アンケートより

i) 満足度

参加者の9割が「非常に満足」・「満足」と回答

ii) 空き家の所有状況

「所有している」…36%

「いずれ所有する予定がある」…64%

iii) 今後関心のあるトピック

「家財処分」「売却手法」「活用方法」

③ 空き家相談会

ア 開催日時

令和5年1月14日（土） 10時00分開始 14時40分終了

イ 会場

苫小牧市民活動センター2階 研修室A及びC

ウ 相談員

北海道宅地建物取引業協会苫小牧支部（宅建士）3名
札幌司法書士会（司法書士）2名

エ 相談者数（相談空き家件数）

8組（10件）

オ 相談空き家の状況

i) 所在地

西部 6件（西2件、東4件）

中央部 4件（西2件、中央1件、東1件）

ii) 損耗度

Bランク 7件

Cランク 2件

その他 1件



カ 相談内容

売却に関する事 7件

相続・権利に関する事 7件

解体に関する事 3件

管理に関する事 1件

家財整理に関する事 1件

(2) 令和4年度空家等実態調査について

① 実施状況

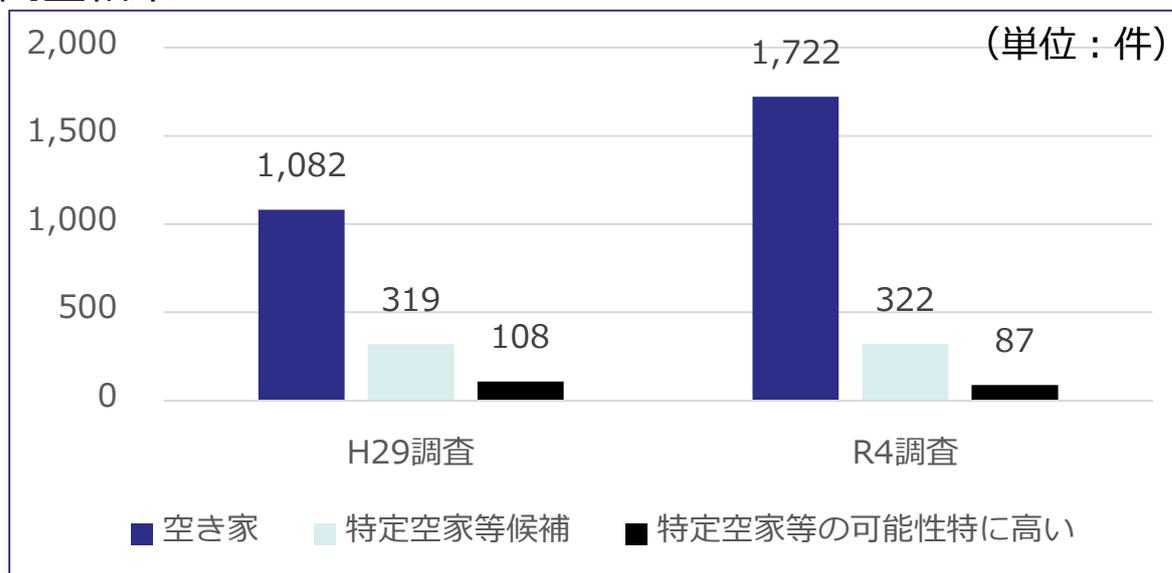
ア 調査期間

令和4年7月5日（火）から令和5年2月28日（火）まで

イ 調査方法

市内全域において空家等とみられる家屋についてデータによる候補の抽出・外観目視による現地調査。（業者委託）

ウ 調査結果



エ 所有者調査の状況

完了 95% 調査中 3% 不明 2%

オ 今後のながれ

- ・ 報告内容の精査（既存データとの突合・危険家屋対応）
- ・ 所有者に対してアンケート調査を実施（令和5年4月）
 家屋の管理・活用状況、今後の活用意向について 等
- ・ アンケート結果の集計及び分析（令和5年6月）

参考) 不良度別の推移 (年度末時点)

単位: 件

年度 不良度	H29	H30	R元	R2	R3	R4 (2月末時点)
A	151	150	152	152	161	212
B	792	820	822	838	855	1,311
C	110	118	114	112	112	155
D	29	27	20	20	17	44
合計	1,082	1,115	1,108	1,122	1,145	1,722

地域別の比較 (年度末時点)

単位: 件

年度 エリア	H29		R4 (2月末時点)	
	空家等数 (件)	全体に占める 割合 (%)	空家等数 (件)	全体に占める 割合 (%)
西部西地域	204	18.8	344	20.0
西部東地域	282	26.1	436	25.3
中央部西地域	141	13.0	258	15.0
中央部中地域	182	16.8	236	13.7
中央部東地域	137	12.7	176	10.2
東部西地域	28	2.6	55	3.2
東部東地域	104	9.6	214	12.4
苫東地域	4	0.4	3	0.2
合計	1,082	100	1,722	100

地域区分図



② 所有者等アンケート

ア 調査対象

実態調査で把握した家屋の所有者又は管理者

イ 調査件数（予定）

約1,450件

対象家屋から同一の送付先や所有者不明分を除く。

ウ 調査項目

- ・ 所有空き家の基本情報
- ・ 活用に向けての傾向
- ・ 空き家問題解決に向けた所有者側のニーズ

エ 調査方法

郵送及びインターネット調査

オ 調査期間（予定）

令和5年4月上旬～3週間

カ その他

- ・ 空き家対策に関する相談先リストを同封する。
- ・ 回答から空家等でないことが判明した場合は、空き家台帳から除外する。

調査結果については次回（7月）委員会で報告予定

(3) 特定空家等の取組状況について

このページは個人情報保護のため、非公開とします。

このページは個人情報保護のため、非公開とします。

(4) 今後のスケジュールについて

① 第2期空家等対策計画策定にあたっての考え方

- ・ 第1期計画に掲げた取組方針（「発生抑制」・「適正管理」・「有効活用」・「管理不全対策」）の継承を基本的な考えとする。
- ・ これまでの取組の効果を検証し、実態調査によって把握した空き家の情報やアンケートから得られた所有者の意向を精査しながら、実効性のある計画の策定を目指す。

② 予定スケジュール

	計画策定	事業
令和5年4月	空家等所有者 アンケート調査(4月)	
令和5年5月		
令和5年6月		空家解体 補助申込 (6月)
令和5年7月	第1回開催(7月) アンケート結果報告 第2期計画(骨子)審議	
令和5年8月		空き家 セミナー (8月)
令和5年9月		空き家 相談会 (9月)
令和5年10月		
令和5年11月	第2回開催(11月) 第2期計画(素案)審議	
令和5年12月	パブリックコメント実施 (12~1月)	
令和6年1月		
令和6年2月	第3回開催(2月) 第2期計画(案)審議	
令和6年3月		